

# 事業概要

## 1 法人運営部門

### (1) 理事会等の運営

#### ① 正副会長会議

名称	実施日	出席者	内容
第91回正副会長会議	5月13日(木)	伊藤 福義 他 3名	協議事項 1 直方市社会福祉協議会理事及び評議員補欠選任について 2 平成21年度直方市社会福祉協議会事業報告及び収支決算について 3 直方市社会福祉協議会一般会計補正予算について
第92回正副会長会議	11月17日(水)	伊藤 福義 他 2名	協議事項 1 平成23年度事業及び予算要請について 2 平成22年度歳末たすけあい見舞品配布について
第93回正副会長会議	12月10日(金)	伊藤 福義 他 3名	協議事項 1 専決処分事項の承認について 2 直方市社会福祉協議会定款の一部改正について 3 直方市社会福祉協議会理事・評議員補欠選任について 4 平成22年度直方市社会福祉協議会補正予算について 5 歳末たすけあい募金の配分について
第94回正副会長会議	3月17日(木)	伊藤 福義 他 3名	協議事項 1 直方市社会福祉協議会一般会計補正予算について 2 平成23年度直方市社会福祉協議会事業計画並びに収支予算について

#### ② 理事会

名称	実施日	出席者	内容
第235回理事会	5月26日(水)	伊藤 福義 他 13名	協議事項 1 直方市社会福祉協議会評議員補欠選任について 2 平成21年直方市社会福祉協議会事業報告について 3 平成21年度直方市社会福祉協議会一般会計収支決算及び監査報告について 4 平成22年度直方市社会福祉協議会一般会計補正予算について
第236回理事会	9月17日(金)	伊藤 福義 他 13名	協議事項 1 直方市社会福祉協議会副会長の補欠選任について 報告事項 1 専決処分事項の報告について

名 称	実施日	出席者	内 容
第 237 回理事会	12 月 21 日 (火)	伊藤 福義 他 12 名	協議事項 1 専決処分事項の承認について 2 直方市社会福祉協議会定款の一部改正について 3 直方市社会福祉協議会評議員補欠選任について 4 直方市社会福祉協議会一般会計補正予算について 報告事項 ① 歳末たすけあい配分計画について ② 介護事業の運営について (答申)
第 238 回理事会	3 月 29 日 (火)	伊藤 福義 他 15 名	協議事項 1 平成 22 年度直方市社会福祉協議会一般会計補正 予算について 2 平成 23 年度直方市社会福祉協議会事業計画並びに 収支予算について 報告事項 ① 歳末たすけあい募金配分について

### ③ 評議員会

名 称	実施日	出席者	内 容
第 165 回評議員会	5 月 26 日 (水)	白石 栄治 他 27 名	審議事項 1 直方市社会福祉協議会理事の補欠選任について 2 平成 21 年度直方市社会福祉協議会事業報告につ いて 3 平成 21 年度直方市社会福祉協議会一般会計収支 決算及び監査報告について 4 平成 22 年直方市社会福祉協議会一般会計補正予 算について
第 166 回評議員会	12 月 21 日 (火)	白石 栄治 他 23 名	審議事項 1 直方市社会福祉協議会理事の補欠選任について 2 直方市社会福祉協議会定款の一部改正について 3 直方市社会福祉協議会一般会計補正予算について 報告事項 ① 歳末たすけあい配分計画について ② 介護事業の運営について (答申)
第 167 回評議員会	3 月 29 日 (火)	白石 雄三 他 21 名	審議事項 1 平成 22 年度直方市社会福祉協議会一般会計補正 予算について 2 平成 23 年度直方市社会福祉協議会事業計画並び に収支予算について 報告事項 ① 歳末たすけあい募金配分について

④ 監事会

名称	実施日	出席者	内容
監事会	5月11日(火)	山口 慎輔 内藤 康治	1 平成 21 年度事業実績について 2 平成 21 年度収支決算について

(2) 役職員研修の実施

研修名	実施日	人数等	内容
福岡県社会福祉大会参加	10月22日(金)	7名	役員研修として、福岡県社会福祉大会記念講演を活用した 演題：今、社会福祉関係者に求められるもの 講師：大阪府立大学人間社会学部教授 関川 芳孝 氏 会場：クローバープラザ(春日市)
役職員研修会	2月20日(日)	10名	役職員研修として、「平成 22 年度筑豊ブロック市町村社協役職員研修会」に参加した。 演題：これからの地域福祉と社協役員のあり方 講師：長崎国際大学 人間社会学部社会福祉学科 教授 山本 主税 氏 会場： なかまハーモニーホール3階会議室
筑豊ブロック直鞍エリア社協職員研修会	2月25日(金)	4名	職員研修として、筑豊ブロック直鞍エリア社協連絡協議会職員研修会に参加した。 演題：住民の組織化における社協の役割 講師：久留米大学 客員教授 松尾 誠治郎 氏
福祉サービス苦情解決事業第三者委員等研修会	3月7日(月)	3名	説明：運営適正化委員会における苦情受付状況等について 演題：苦情解決のための第三者委員の役割について 講師：山口県立大学 社会福祉学部社会福祉学科長 教授 横山 正博氏 実践報告：各事業所での苦情解決の取り組み、事例等 会場：ヒルトン福岡シーホーク 1階 アルゴス

## 2 地域福祉活動推進部門

### (1) 福祉教育・啓発活動

#### ① 広報・啓発紙の発行等

種 類	実施日	人数等	内 容
社協だより	7、12、3月	—	第147～149号 市内全戸配布
点字版社協だより		25名	点訳サークル「きつつき」に作成を委託し、市内視覚障害者の希望者に配布した。
ホームページの運営	通 年	33回	社協について、事業・サービス案内、各種情報等を掲載した。 延べアクセス数：4,771回 閲覧ページ数：7,542回

#### ② 地域福祉セミナーの開催

種 類	実施日	人数等	内 容
1 回 目	4月17日(土)	73名	1 講義：住民の支え合いマップについて 2 演習：マップ作りの模擬演習 講師：住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏
2 回 目	4月18日(日)	24名	実践：マップ作りの実践（東和苑自治区） 講師：住民流福祉総合研究所 所長 木原 孝久 氏

#### ③ 社会啓発行動

事業名等	実施日	人数等	内 容
第35回よこいと運動会実行委員会	4月27日(火)	20名	1 実行委員長の選出 2 日程、会場、競技内容、役割分担等について
第35回よこいと運動会	6月6日(日)	25団体、 個人396名	大玉ころがし、アベック風船割りなど 会場：直方市体育館
第35回よこいと運動会反省会	6月25日(金)	17名	—
福祉まつり実行委員会	8月26日(金)	21名	1 実行委員長の選出 2 日程、会場、内容、役割分担等について
福祉まつり	10月24日(日)	630名	参加団体：24団体 協力団体、企業：10団体、1社 協賛企業：22社
福祉まつり反省会	11月19日(金)	12名	—
日曜出合いの広場「もちつき会」	12月19日(日)	120名	協力：直方市ボランティア連絡協議会

#### ④ 実習生・視察研修等の受け入れ

学校名等	期 間	人数等	内 容
九州保健福祉大学、麻生医療福祉専門学校	9月24日(金) ～ 10月29日(金)	2名	社会福祉援助技術現場実習

学校名等	期 間	人数等	内 容
(財)福岡県市町村 振興協会ホームヘ ルパー養成事務局	12月14日(火)	1名	訪問介護実習
	12月21日(火)	1名	

## (2) 調査・研究

事業名	実施日	人数等	内 容
支え合いマップ作りによる見守り対象者の実態調査	4月18日(日)	24名	感田校区東和苑区の約半分の世帯を対象にして、区の役員や民生委員等が中心となり見守りが必要な世帯について調査を行った。

## (3) 小地域福祉活動の推進、支援

事業名	実施日	人数等	内 容
校区社協活動への助成	—	—	西・南・新入・下境・感田の5校区社協に活動費を助成した。
福祉入門教室Ⅰ (福祉人材バンク及び感田校区社協との共催)	9月10日(金) 10月17日(日)	15名 134名	「民生委員・児童委員と福祉委員の関わりについて」 「人と人の出会い、ふれあい」～一人では生きられない～ 講師：感田校区社協 荒武浩氏 ：行橋市泉校区民生員・児童委員協議会 会長 古谷信一氏 会場：感田校区活性化推進センター、感田小学校
福祉入門教室Ⅱ (福祉人材バンク及び西校区社協との共催)	12月12日(日) 2月5日(土)	56名 30名	「地域の福祉・楽しいつどい」「健康教室・救命救急を学ぶ」 講師：直方市消防本部 会場：山部一区公民館、直方いこいの村

## (4) ボランティアセンターの運営

業務名	実施日	人数等	内 容
ボランティアルームの提供	通年	—	提供件数：113件
ボランティア活動の登録・斡旋	通年	—	相談件数：72件 個人登録数：26名 団体登録数：14団体
第36回直方ボランティアのつどい	3月27日(日)	46名	直方市ボランティア連絡協議会との共催による風船バレーボール及び交流会 会場：直方西小学校体育館ほか
ボランティア活動保険料の助成	通年	延べ 273名	年間保険料一人あたり260円のうち、100円及び200円を助成した。
活動資材の整備・貸し出し	通年	—	点字タイプ、綿菓子機、餅つき道具、アイマスク等の貸し出しが25件あった。
直方市ボランティア連絡協議会の支援	通年	—	定例会での情報提供や同協議会主催行事に関する連絡調整等を行った。

(5) おもちゃ図書館の運営

業務名	実施日	人数等	内容
通常利用	通年	1,244名	開館日数—通常開館：74日、臨時開館：4日 利用者数—通常開館：1,193名、臨時開館：51名 1日平均利用者数：15.9名 1日平均スタッフ数：8.7名
おもちゃの貸し出し	通年	513点	1日平均：6.6点
研修	11月12日(金)	9名	スタッフ会(ボランティアスタッフ)とおもちゃ図書館たんぼぼ(福津市)を視察した。
	12月5日(日)	9名	スタッフ会とおもちゃ図書館ボランティア九州・沖縄地区研修会(小郡市)に参加した。
広報活動	通年	—	リーフレット配布：500枚 社協だより掲載：7月、12月、3月 ホームページに動画を掲載した。
スタッフ行事	8月28日(土)	40名	利用者との交流事業として、第2回お楽しみ会を実施した。
	10月12日(火)	44名	利用者との交流事業として、芋掘りを実施した。
	12月18日(土)	32名	利用者との交流事業として、クリスマス会を実施した。

(6) 当事者組織・団体、社会福祉関係団体の支援

業務名	実施日	人数等	内容
事業に対する助成	—	団体	共同募金B枠配分金を活用
小規模作業所の援助	—	—	なおみの会共同作業所への活動費の援助 (共同募金A <sup>1</sup> 枠配分金を活用)
障害者問題を考える直方市連絡会議への協力	通年	—	定例の常任委員会での情報提供や当団体主催事業に関する連絡調整等を行った。
直方徘徊SOSネットワーク(推進会議)	8月23日(月)	48名	1 徘徊SOSネットワークとは(DVD鑑賞) 2 直方徘徊SOSネットワーク推進要綱について 3 認知症サポーターに養成について
	—	29団体(社)	登録団体・企業数
	12月9日(木)	12名	飯塚市鎮西地区福祉ネットワーク委員会視察受入

(7) 共同募金・歳末たすけあい運動への協力と実施

事業名	実施日	人数等	内容
赤い羽根街頭募金	10月5日(火)	—	福岡県共同募金会直方市支会が実施する街頭募金に協力した。
福祉まつり	10月24日(日)	—	共同募金啓発用パネルの展示・紹介やイベント募金に協力した。
歳末たすけあい配分委員会	4月5日(月)	5名	歳末たすけあい募金配分について(地域支援事業)
	12月21日(火)	5名	平成22年度歳末たすけあい募金配分について

事業名	実施日	人数等	内 容
歳末たすけあい 配 分 委 員 会	1月26日(水)	5名	平成22年度歳末たすけあい募金配分について
歳末見舞品贈呈事業	12月	1,670名	民生委員児童委員協議会の協力により、70歳以上の独居者（生活保護世帯を除く）に対して、市指定ゴミ袋の中サイズ1袋を贈呈した。
地 域 支 援 事 業	—	11校区	前年度歳末たすけあい募金の一部を原資として、各校区の事業（行事）に対して助成を行った。

(8) 生活福祉資金貸付業務 (県社協事業の一部受託)

業務名	実施日	人数等	内 容
相 談	通 年	127件	生活費 87件、療養費 13件、転居費 10件、 修学費 8件、技能修得費 3件、生業費 3件、 災害援護 2件、その他 1件
貸 付	通 年	—	承認 72件 — 決定額合計 23,019,450円 総合支援資金 (旧離職者支援資金) 21件 12,985,450円 教育支援資金 (旧修学資金) 11件 6,106,000円 緊急小口資金 36件 3,114,000円 福祉資金 2件 614,000円 臨時特例つなぎ資金 2件 200,000円 不承認 4件 — 申込金額合計 1,288,000円 総合支援資金 (旧離職者支援資金) 3件 1,188,000円 緊急小口資金 1件 100,000円
償 還	通 年	—	元金 4,856,060円 貸付利子 176,925円 延滞利子 123,586円

(9) 生活物資緊急支援資金貸付業務

業務名	実施日	人数等	内 容
貸 付	通 年	19件	生活保護費給付までのつなぎ 14件 116,000円 生活福祉資金貸付までのつなぎ 5件 47,000円
償 還	—	17件	10,000円 - 6件、9,000円 - 3件、7,000円 - 8件

### 3 福祉サービス利用支援部門

#### (1) 障害者相談支援センターるーぶるの運営 (直方市・宮若市・鞍手町・小竹町2市2町受託事業)

事業名	実施日	人数等	内容
相談(面接・電話・訪問・メール)	通年	165名 (実人数)	不安の解消・情緒安定に関する支援 …… 955件 健康・医療に関する支援 …… 850件 福祉サービスの利用等に関する支援 …… 781件 家族関係・人間関係に関する支援 …… 747件 障害や症状の理解に関する支援 …… 683件 就労に関する支援 …… 322件 生活技術に関する支援 …… 260件 社会参加・余暇活動に関する支援 …… 255件
事業名	実施日	人数等	内容
前頁からの続き			家計・経済に関する支援 …… 230件 権利擁護に関する支援 …… 28件 保育・教育に関する支援 …… 25件 その他 …… 782件 合計 5,918件
個別支援会議	随時	5回	利用者ごとに家族や支援者と今後の支援について話し合いを行った。
当事者相談	通年	延べ 16名	肢体(車いす)、内部疾患、精神、知的の4分野で当事者の協力を得て実施した。
当事者相談員報告会	7月8日(木)	3名	相談事例の報告及び相談支援の方法について
	12月11日(土)	3名	
	3月24日(木)	3名	
交流広場「7番地」	通年	延べ 1,094名	身体：延べ 88名 精神：延べ 879名 知的：延べ 127名
広報誌「るーぶる」	8、11、2月	3回	第15号～17号を発行し、直鞍2市2町の公的施設や関係団体等に配布した。
移動るーぶる	4月24日(土) 5月22日(土) 7月24日(土) 8月28日(土) 9月25日(土) 11月27日(土) 12月18日(土) 1月22日(土) 3月26日(土)	—	るーぶる開館日のうち、月1回程度宮若市、鞍手町、小竹町に出向いて開館した。 4月(鞍手町くらの郷)：相談5件、7番地利用7名 5月(小竹町福祉センター)：相談7件、7番地利用1名 7月(宮若市中央公民館)：相談4件、7番地利用1名 8月(鞍手町くらの郷)：相談5件、7番地利用3名 9月(小竹町福祉センター)：相談1件、7番地利用1名 11月(宮若市社会福祉センター)：相談5件、7番地利用2名 12月(鞍手町くらの郷)：相談6件、7番地利用1名 1月(小竹町福祉センター)：相談0件、7番地利用0名 3月(宮若市中央公民館)：相談4件、7番地利用5名
運営協議会	12月16日(木)	8名	1 るーぶるの現状と課題(平成22年度事業の中間報告を中心に) 2 相談支援事業を取り巻く情勢(報告)



直鞍地区障害者等 地域自立支援 協議会の運営	6月24日(木)	12名	1 新任委員紹介 2 平成21年度の相談支援について 3 重度心身障害児の生活支援課題について 4 自立支援協議会の課題について
	8月9日(月)	2名	県主催事務局担当者会議への参加
	9月13日(月)	11名	正副会長会議(事務局9名)
	12月16日(木)	22名	障害福祉サービスの現状についての聞き取り調査
	3月9日(水)	16名	専門部会
	月1回	—	事務局会議
その他	10月24日(日)	—	直方市の福祉まつりで、るーぷるの紹介等を行った。

(2) 日常生活自立支援事業の生活支援員業務 (旧地域福祉権利擁護事業、県社協事業の一部受託)

業務名	実施日	人数等	内容
金銭管理サービス	通年	6名	事業者である福岡県社会福祉協議会との契約により、本会職員1名が生活支援員として金銭管理サービスを実施した。 延べ利用件数：37件

(3) 認知症相談の実施

事業名	実施日	人数等	内容
認知症相談	第4水曜日	39名	来所：17名、電話：22名 協力：認知症の人と家族の会直方 市報のおがた(15日号)の裏面「直方まちのカレンダー」での案内も行った。

(4) 直方市障害者在宅福祉サービス状況調査業務 (直方市からの一部受託)

事業名	実施日	人数等	内容
住みよか事業	通年	0名	直方市から調査依頼がなかった。
日常生活用具等給付事業	通年	0名	直方市から調査依頼がなかった。

## 4 在宅福祉サービス部門

### (1) 移動送迎支援事業

業務名	実施日	人数等	内容
移送サービス	通年	延べ 158名	登録者数：35名 利用件数：320件
運営委員会	3月10日(木)	7名	1 平成22年度事業実績報告について 2 平成23年度事業について

### (2) 配食サービス事業

事業名	実施日	人数等	内容
配食サービス (独自事業)	毎週水曜日	登録者 9名	昼食を宅配 調理：頓野「花仙」 配達：ボランティア(5名) 延べ配食数：348食
直方市配食 サービス事業 (市委託事業)	月～土曜日	延べ 2,201名	夕食(弁当)を週6回(月～土)の範囲で宅配 調理及び配達：(株)ランチサービス (有)景光園 延べ配食数：39,176食

### (3) 車いすの貸し出し

事業名	実施日	人数等	内容
車いすの貸し出し	通年	—	貸し出し件数：31件 延べ貸し出し数：61台

### (4) 介護サービス事業

#### ① 居宅介護等事業

事業名	実施日	人数等	内容
ケアプラン サービス	通年	延べ 332名	居宅において可能な限り自立した日常生活を営むことができるよう居宅サービス計画を作成し、居宅サービス事業者との連絡調整を行った。
ホームヘルプ サービス (介護保険)	通年	延べ 182名	介護予防として、要支援1及び2の被保険者に対して、介護予防サービス計画に沿って介護予防訪問介護サービスを行った。 訪問回数：1,143回
		延べ 177名	要介護1～5の被保険者に対して、居宅サービス計画に沿って訪問介護サービスを行った。 訪問回数：2,388回
ホームヘルプ サービス (障害者自立支援法)	通年	延べ 178名	在宅障害者の生活援助のため居宅介護サービス等を行った。 訪問回数：2,299回

② 直方市受託事業

事業名	実施日	人数等	内容
要介護認定調査事業	通年	延べ60名	要介護認定申請者に対して訪問調査を実施した。
生活管理指導員派遣事業	通年	延べ98名	介護保険認定で自立と認定されたものの、身体上又は精神上的の障害等により日常生活を営むのに支障のある高齢者の属する世帯に対して、生活管理指導員を派遣した。 延べ利用時間数：301時間
移動支援事業 (ガイドヘルプ)	通年	延べ47名	ガイドヘルパーを派遣し、在宅障害者の移動支援を行った。 延べ回数：123回

③ 研修

事業名	実施日	人数等	内容
介護事業所従事者研修	5月15日(土)	1名	くらし介護支援専門員協議会主催 介護保険学習会 「事例を通して考える～認知症の方を地域で支えていく為に～」
	8月6日(金)	1名	フォーラム 認知症新時代
	8月24日(火)	1名	福岡県介護職員確保定着促進事業 管理者セミナー
	9月15日(水)	1名	社団法人福岡県介護支援専門員協会筑豊ブロック研修会 「ケアプラン点検支援マニュアル質問事項」「介護保険制度の最新情報について」
	9月25日(土)	1名	くらし介護支援専門員協議会主催 介護保険学習会 「今、ケアマネージャーに求められること」
	10月27日(水)	1名	福岡財務支局主催 視覚障がい者団体と金融機関との意見交換会 参加
事業名	実施日	人数等	内容
介護事業所従事者研修	11月7日(日)	1名	認知症の方への接し方について 講師：田代医院 院長
	11月7日(日)	1名	認知症ってどんな様子？どうしたらいいの？ 講師：丸野クリニック 院長
	12月17日(金)	1名	嘉徳・鞍手地域在宅医療支援センター主催 在宅ホスピス市民公開講座 「最後まで我が家で暮らしたい」～この願いをかなえるために～
	1月9日(日)	3名	福岡県地域介護実習・普及センター主催 「認知症について」～認知症高齢者の対応について、認知症の予防について～ 講師：医療法人 小倉蒲生病院 訪問看護師 増田貴美子 氏
	1月23日(日)	2名	「言語・聴覚障がい者の支援」～コミュニケーション支援機器を使って「ことば」に障がいのある方への接し方を学ぶ～ 講師：言語聴覚士 田中愛啓 氏
	3月25日(金)	1名	福岡県高齢者在宅移行支援事業研修会 「医療と介護の連携について」～連携の重要性と今後の展望～

④ 介護サービス事業検討特別委員会

事業名	実施日	人数等	内 容
第 1 回委員会	7月 28日(水)	8名	1 委嘱状交付 2 正副委員長選出 3 介護事業所運営の諮問について
第 2 回委員会	8月 25日(水)	7名	1 介護事業の運営について
第 3 回委員会	9月 30日(木)	8名	1 答申について

## 5 総合福祉センターの運営

### (1) 一般利用

事業名	実施日	人数等	内容
一般利用	通年	延べ 13,006名	月平均：1,084名 日平均：44名

### (2) 健康増進活動の推進

事業名	実施日	人数等	内容
にこにこ教室	毎週水・木・金曜日	延べ 551名	健康体操やレクリエーションなど
	11月20日(土)	15名	屋外教室 — 朝倉市三連水車の里あさくら周辺

### (3) 教養娯楽活動の推進

事業名	実施日	人数等	内容
会議室等の貸し出し	通年	52回 1,642名	—
事業名	実施日	人数等	内容
趣味の会活動支援	通年	—	囲碁部、俳句部へ活動費を助成した。
夏の演芸大会	7月6日(火)	91名	カラオケ、踊りなど
新春演芸大会	1月25日(火)	85名	

## 6 その他

### 行政施策への参加・参画

事業名	実施日	人数等	内容
嘉穂鞍手保健所運営協議会精神保健福祉部会	8月12日(木)	1名	1 平成21年度精神保健福祉業務実績報告について 2 平成22年度精神保健福祉業務実施計画について 3 自殺予防対策について
平成22年度直方市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画推進協議会／直方市地域包括支援センター運営協議会／直方市地域密着型サービス運営協議会	11月16日(火)	1名	1 高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について 2 地域包括支援センターについて 3 地域密着型サービス事業について